

特養の『納涼祭』～花火大会を観賞しました～

特別養護老人ホームあじさいのおか牛窓では、日頃施設内で過ごされることが多いご入居者様にも季節を肌で感じていただけるよう、夏の時季には『納涼祭』をおこなっています。今年は8月1日（土）に開催しました。ご入居者様の中には、数日前から祭りが楽しみでそわそわされる方もおられ、職員も「早く皆様に楽しんでもらいたい」と、祭りの日を待ち遠しく思いました。

いよいよ、納涼祭の日がやってきました！当日は、職員手作りの綿菓子、かき氷、そしてジュース等を、3箇所に分かれて手渡しリレーでご入居者様に提供しました。ご入居者の皆様は、品物を受け取るとすぐに口に運び、「美味しいなあ！」「こんな美味しいもの食べたことないわ～」と喜んで召しあがってくださいました。

続いて、花火大会です！また、昨年中止された牛窓の花火大会が復活し、あじさい東館館内から花火観賞を楽しめました。

皆様、上がる花火に合わせて手を叩かれながら、「綺麗じゃなあ」「今年は花火が見えて良かった！綺麗に見えるなあ～」「ええわあ、来て良かったわ～」と、大きな歓声と大合唱。また、「お月様と花火と一緒に見えてお得な感じがするなあ」と話される方もおられ、皆様、楽しい時間を過ごして下さったご様子でした。

夏の風物詩を皆様に楽しんでいただくことができ、職員にとっても、ひと夏の素敵な時間となりました。



10月号(207号)

発行日：2015.9.10

発行



社会福祉法人
誠和

特別養護老人ホーム
あじさいのおか牛窓
サービス向上委員会
発行責任者：三石哲也

〒701-4301
岡山県瀬戸内市
牛窓町長浜1745-1
TEL 0869-34-6366
FAX 0869-34-6370
seiwa@ajisai-s.or.jp
<http://www.ajisai-s.or.jp/>

ボランティア紹介～『笑いヨガ』を行なっています～

デイサービス・デイホームでは毎月1回、外部のボランティアの方に来館していただき、笑いヨガを実践しています。

笑いヨガとは、「笑いの体操」と「ヨガの呼吸法」を組み合わせた運動法です。笑うことで酸素が取り入れられ、健康と活力が実感できるそうです。笑いが健康に良い、ということは知られていますが、「笑い」はコミュニケーションの潤滑油となり、人間関係を豊かなものにしてくれます。

笑っていると気分がよくなり元気になれますが、笑う気になれない時に笑うことは、簡単ではありません。そんな時でも、笑いヨガを行えば会場はご利用者様と職員の笑い声と笑顔に包まれます。笑いヨガ終了後には、参加されたご利用者様から「よく笑ったなあ」「いっぱい笑ったから若返ったような」などの声が聞かれ、またご利用者様同士が笑顔で会話されている姿が見られます。

これからも、ご利用者様にいつまでもお元気で生活していただけるよう、楽しみの場を提供していきたいと思っております。



◆寄付・寄贈御礼(8月)◆

見藤 恵子様
小西 明美様

児島 直臣様
鳥居 都子様

ありがとうございました。

グループホームあじさいの『こころざし』～想いをこめて…～

グループホームあじさいは、要支援2～要介護5の方で、認知症の診断を受けられた方にご入居いただける施設です。また、看護師が日常的な健康管理を行うなど、医療面から適切な指導・援助をするとともに、主治医との連絡調整・連携も図っています。

また、ご入居される前の「住み慣れた家（自宅）」での生活に少しでも近づけよう、皆様に日々穏やかに過ごしていただこうと、様々な工夫をしています。例えば、ご自宅でされていたような家事で、調理・洗濯物たたみ・裁縫などは、皆様にしていただける範囲で何でも手伝っていただいています。また、身体を鍛えるためにリハビリ体操や失禁体操も日課としています。さらに、季節に応じた行事も取り入れ、楽しみのある生活を送っていただけるよう支援しています。

さて、ここで、職員全員で考えた、グループホームあじさいの理念をご紹介します。

- 一人ひとりの思いのつまった暮らしを大切に、心に響く介護をします。
- 全ての人が笑顔で過ごせるホームを目指します。

毎朝の朝礼では、職員全員でこの2つの理念を声に出して読みあげています。理念を職員全員が共有することで日々の生活支援業務への意識を高め、ご入居者様とご家族様、そして職員自身が笑顔いっぱい過ごせるよう努めています。いつでもご見学可能ですので、お近くにお越しの際はお気軽にお立ち寄りください。



福祉用具 ～『杖の基本』編～ アレコレ

最近、歩くことに不安を感じている方はおられませんでしょうか？杖は多くの高齢者の方が初めて触れる介護用品となりやすく、最初は杖を使うことに対して抵抗を感じる方も多いようです。しかし、実際に使ってみると、「使った方が歩きやすかった」という感想も聞かれます。

杖といっても種類は豊富にあり、用途や場所、使う方の身体状態によっても違ってきます。また、杖の長さは短すぎても長すぎてもしっくりきません。さらには、体重をかけるときは適度な位置に突かないと、使いにくいものです。

次に杖の持ち方ですが、必ず『悪い足とは反対側の手』で持ちます。これは、悪い足と同じ側の手で持つと体を支えるバランスが悪くなり、転倒する危険性があるためです。

◎「あじさいのおか後援会」会員募集◎

本会は「社会福祉法人 誠和」の各種活動・行事等を後援することが目的です。

年会費：（一般会員）一口2,000円

*詳しくは、あじさいのおか牛窓（事務部）まで！

このように、杖は『自分に合ったものを正しい使い方
で使用する』ことで、初めてその役割を果たせるのです。

杖は、種類によっては介護保険でレンタルできるものもあります。また、最近はオシャレな柄の杖もたくさんあり、「古臭い」「見た目が悪い」というイメージも薄れつつあります。

どのような杖が良いのか、また正しく杖を使うにはどうすれば良いのか、とお悩みの方は、ぜひ一度支援センターへご相談ください。

また、杖以外の福祉用具についても、いつでもご相談をお待ちしております。お気軽にお問い合わせください。

支援センター（TEL）0869-34-6368

